

サハリン・樺太史研究会 第41回例会

樺太の〈戦後〉史研究の到達点と課題

日時: 2016年12月10日(土) 午後13:00~17:30 事前申込不要・参加無料

場所: 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟(W棟)2階 W201室

司会 田村将人(東京国立博物館) 趣旨説明 中山大将(京都大学)

13:10~15:10 **第1部 樺太引揚げ**

1945年前後における南樺太の人口移動
戦時期から引揚げまで

竹野 学(北海商科大学)

樺太からの「脱出」と、戦後北海道における引揚者

木村由美(藤女子中学・高等学校)

樺太からの引揚げ 函館引揚援護局の資料からの検討

ジョナサン・ブル(北海道大学)

15:20~16:40 **第2部 サハリン残留・帰国**

サハリンにおける旧樺太住民の残留と帰国

中山大将(京都大学)

サハリン帰国者のトランスナショナル
アイデンティティ形成 2~3世を中心に

スヴェトラナ・パイチャゼ(北海道大学)

16:50~17:30 **総合討論**



氷雪の門(稚内市)

主催 サハリン・樺太史研究会

事務担当鈴木仁 su-jin@eis.hokudai.ac.jp